



アナログミキサー

Soundcraft Notepad 5, 8FX & 12FX

取扱説明書

Version 1.1



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

安全上の重要事項



ユーザーに危険を警告しています。製品内の電圧により、感電の危険性があります。



安全にご使用いただくためにマニュアルの指示に従ってください。

1. 本マニュアルに記載されている全ての警告と指示に従ってください。
2. 本体を水の近くで使用しないでください。
3. 本体を水または液体の中にいれないでください。
4. 本体に直接エアゾールスプレー、クリーナー、消毒剤や殺虫剤を使用しないでください。メンテナンスは乾いた布で拭いてください。
5. 本体の通気口をふさがないように、マニュアルの指示に従って設置してください。
6. 熱源（ラジエーター、ストーブ、アンプ）などの近くに設置しないでください。
7. 安全のため、必ずアース線をアース端子に接続してください。
8. 電源コードは踏まれたり、挟まれる事の無いようにしてください。
9. 電源コードを抜く際は、コードを引っ張らず、プラグ部分を持って引き抜くようにしてください。
10. 製品受領時に外部に損傷（電源コード等を含む）が無いか確認してください。もし製品にダメージが有った場合、ただちに販売店へ連絡してください。修理を行わずに使用を続けると更なる深刻なダメージを被る恐れがあります。その状況で使用を続けた場合は、保証期間内でも保証外の対応となる場合が有ります。
11. アクセサリーやパーツは、メーカーが定めた物をご使用ください。
12. 長期間使用しない場合や、雷が発生した時はプラグを抜いてください。
13. 電源周りのトラブルや液体をこぼしてしまった時、高い湿度にさらされた時は、販売店に相談してください。そのまま使用を続けたり、無理に自分で修理を試みないでください。
14. 電源コードのプラグは抜き差し可能で、挿し込むだけで使用できます。
15. 日本国内のみでご使用ください。各地域の法律に従ってご使用ください。
16. 設置について疑問が生じた場合は、販売店に相談してください。

メンテナンスと修理

本製品は最新の電子技術と素材を使用しているため、それに応じたメンテナンスと修理を行う必要があります。機材へのダメージ、使用者へのケガを防ぐためにメンテナンス/修理は Soundcraft の代理店にて行ってください。

注意：この製品は FCC 規則第 15 部に準拠しており、Class B digital device に認定されています。本製品を使用すると高周波を発信する場合があります、設置場所および使用方法によっては、無線送信に干渉を引き起こす可能性があります。ラジオやテレビの受信に干渉する場合は、環境に応じて使用するかどうかの判断、または下記の改善策をご検討ください。

- 受信アンテナの方向や位置を変える
- 装置と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに機器を接続する
- 販売店、またはテレビ・ラジオの技術者に相談する

目次

安全上の重要事項	2
メンテナンスと修理	3
はじめに	5
仕様	5
各部の名称	7
モノラル入力	10
ステレオ入力	12
USB オーディオ信号	13
LEXICON FX	14

はじめに

この度は Soundcraft Notepad シリーズをご購入いただき、誠にありがとうございます。Notepad シリーズは、プロフェッショナル・グレードのアナログコンポーネントと USB オーディオ・インターフェース、Lexicon エフェクトを搭載し、Mac/PC の編集ソフトウェアと組み合わせて使用できるデスクトップサイズのアナログミキサーです。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

仕様

モデル	NOTEPAD 5 / 8FX	NOTEPAD 12FX
周波数特性(±1.5dB)	20Hz – 20kHz (MIC / LINE 入力と出力間)	
ノイズ	MIC 入力 Equivalent Input Noise < -127dBu@最大ゲイン、 150Ω インピーダンス Residual Output Noise: -98dBu (Aux, Mix, Master)	
クロストーク	+21.5dBu (入力信号 1kHz) チャンネルレベル: 最大、マスターレベル: 0dB 隣チャンネル同士のレベル: 最小 フェーダーカットオフ相対+10dB マーク: 88dB	
マイクゲイン	10dB – 58dB	
LINE 入力減衰	20dB	
3 バンド EQ	HF 12kHz シェルビング: -12dB to +12dB MF 2kHz ベル: -12dB to +12dB LF 80Hz シェルビング: -12dB to +12dB	
最大入力レベル	MIC: +11dBu LINE: +30dBu Hi-Z: +17dBu ステレオ: +22dB	
出力レベル	ミックス: +22dBu 最大 ヘッドフォン(150Ω): 165mW	
ダイナミックレンジ	周波数特性: ±1.5dB, 20Hz – 20kHz: THD < 0.01% @ 1kHz 出力@21.5dBu: THD < 0.012% @ 1kHz 出力@14dBu: THD < 0.019% @ 1kHz	
USB	サンプルレート: 44.1kHz, 48kHz 周波数特性: 20Hz – 20kHz (±1.5dB)	

MIC 入力	MIC 入力 1、2 – USB(+10dBu 入力)	MIC 入力 1、2、3、4 – USB(+10dBu 入力) THD+N<0.006% S/N 比>100dB
LINE 入力	LINE 入力 3&4、5&6 – USB(+20dBu 入力)。 THD+N<0.004% S/N 比>100dB	LINE 入力 3&4、5&6、7&8 – USB(+20dBu 入力)。 THD+N<0.004% S/N 比>100dB
USB - マスターLR	+12dBu 出力 THD+N<0.01% S/N 比>80dB	+20dBFS、+14dBu 出力 THD+N<0.01% S/N 比>88dB
USB - ヘッドフォン		-20dBFS、+11dBu 出力 THD+N<0.008% S/N 比>82dB

各部の名称



1. MIC (XLR / フォン・コンボ) 入力
マイクやライン機器を接続します。
2. 48V PHANTOM
マイク入力 (XLR) 端子は 48V ファンタム電源供給が常時有効になっており、コンデンサーマイク、アクティブ DI ボックスなどに電源を供給することができます。
3. 100Hz
ハイパスフィルタースイッチ (ローカット)
4. Hi-Z
エレクトリック・ギターなどのハイ・インピーダンス楽器を接続するとき ON にします。
5. LINE L / R (フォン)
ライン信号を入力します。モノラル信号を入力するときは、L チャンネルに接続します。

6. LINE L / R (RCA)

ラインレベルの信号を入力します。USB からのステレオ信号とミックスされ、プレイバック・チャンネルとして使用されます。

7. USB

コンピューターと接続することができます。PC からの USB 信号は、RCA ライン入力と同じチャンネルに入力されます。USB インターフェイスはレコーディングに柔軟性を与えるルーティング機能を持っています。Notepad 12FX にはワークステーションでプレイバックモニターができるリターンチャンネルが搭載されています。

8. GAIN

入力信号のゲインレベルを調整します。

9. EQ

High、Mid、Low 3 つの周波数帯毎に音質を調整します。

10. AUX / FX (Notepad-8FX、12FX)、MONITOR (Notepad-5)

内蔵エフェクト、または AUX MASTER (Notepad-5 は MONITOR MASTER) へ送る信号レベルを調整します。

11. AUX MASTER (Notepad-8FX、12FX)、MONITOR MASTER (Notepad-5)

AUX 端子 (Notepad-5 は MONITOR MASTER) から出力される信号レベルを調整します。

12. PAN

マスター・ステレオバスに送られる信号の定位 (左右のバランス) を調整します。

13. LEVEL

各チャンネルからマスター・ステレオバスへ送られるレベルを調整します。ピークインジケーターによりオーバーレベルを確認することができます。

14. MASTER

Master Stereo バスの出力レベルをコントロールします。

15. SIGNAL

マスター・ステレオバスの信号レベルを LED レベルメーターで表示します。

16. PHONES LEVEL

ヘッドフォン出力のレベルをコントロールします。

17. MASTER / USB RTN 3/4

ヘッドフォン端子に出力されるソースを切り替えます。

MASTER : Master Stereo バス

USB RTN 3/4 : USB リターン 3/4ch

18. HEADPHONES

ステレオ・ヘッドフォンを接続します。

19. MASTER L、MASTER R

XLR バランスのメイン出力です。アンプ、PA システム、レコーダーなどに接続します。

20. DELAY / CHORUS / REVERB、PARAMETER (Notepad-8FX、12FX)

Notepad 8FX、12FX には、リバーブ / コーラス / ディレイ、3 種類の Lexicon エフェクトが搭載されており、各ボタンを押すことにエフェクトが有効になります。複数のボタンを押すとエフェクトが融合され、3 つすべてのボタンを押すと「KARAOKE」モードになります。各チャンネルから内蔵エフェクト・プロセッサーへ信号が送られ、エフェクト処理された信号はメインバスにミックスされます。

21. TAP TEMPO

DELAY のリピートタイムを設定します。スイッチを 2 回押した間隔が反映されます。

22. PARAMETER

パラメーターノブでエフェクトの効果を調整します。

23. OUTPUT TYPE (MONO LINE OUT / STEREO PHONES)

AUX 端子から出力される信号を切り替えます。

MONO LINE OUT : モノラルラインアウト (AUX / FX)

STEREO PHONES : ヘッドフォン出力 (ステレオ)

24. AUX (Notepad-8FX、12FX) (バランス TRS フォン)

②OUTPUT TYPE の切替により、各チャンネルの AUX / FX ミックス (モノ) もしくは、ステレオヘッドホンの信号が出力されます。

25. EXTERNAL FX (Notepad-12FX)

外部エフェクト・プロセッサーからのリターン信号を入力します。この入力には、トリムや EQ がありません。コネクタを挿し込むと内部エフェクト信号がこの信号に置き換わります。

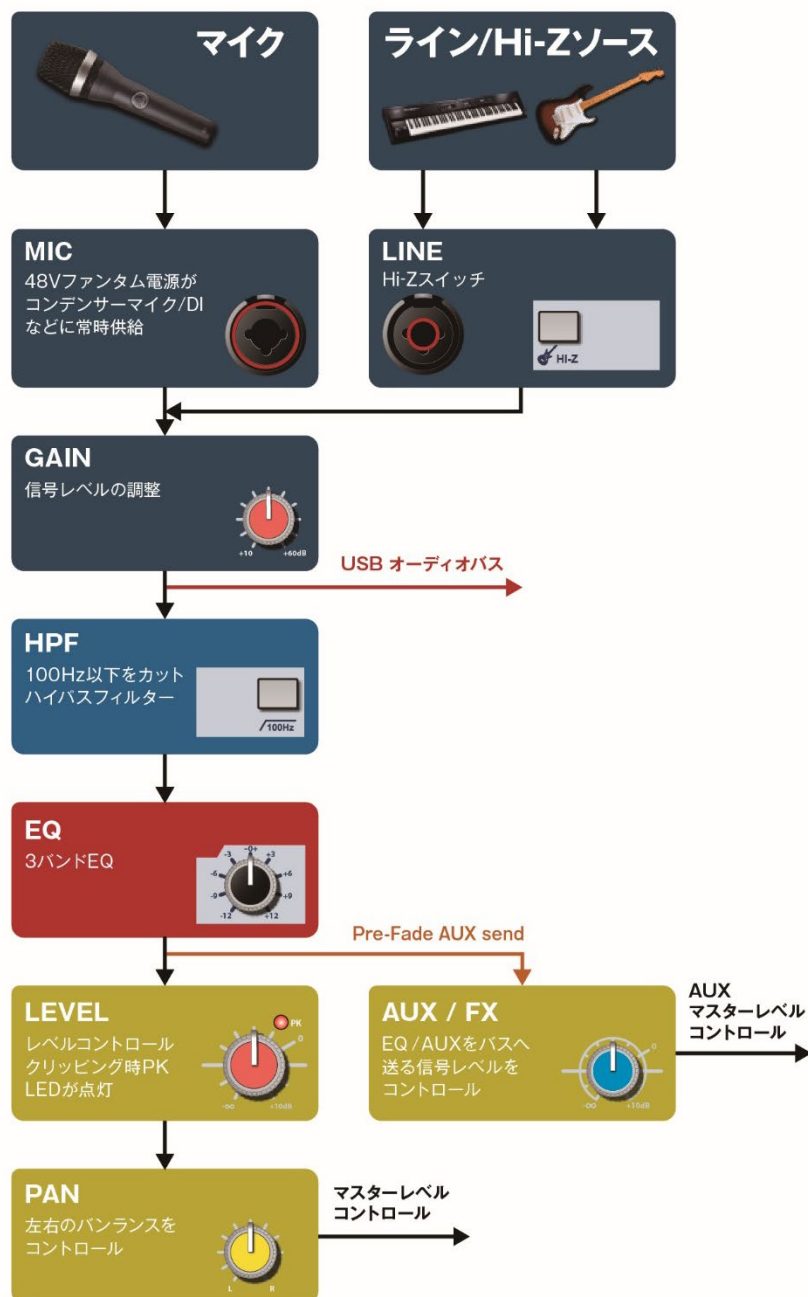
26. 11/12 / FX RTN (Notepad-12FX)

内蔵 FX のリターンレベル、EXTERNAL FX のレベルを調整します。

モノラル入力



マイクやベース、キーボードなどのモノラル信号はモノラル・チャンネルに入力します。マイクは **XLR**、ベースなどはフォン端子に接続します。奇数チャンネルには **Hi-Z** スイッチがあり、ベースなどのハイ・インピーダンス楽器の信号を入力する際にインピーダンスをマッチングさせることができます。また、**100Hz** ハイパスフィルタースイッチにより、**100Hz** 以下の信号をカットすることができます。さらに **3 バンド EQ** を使用して音質を調整することができます。

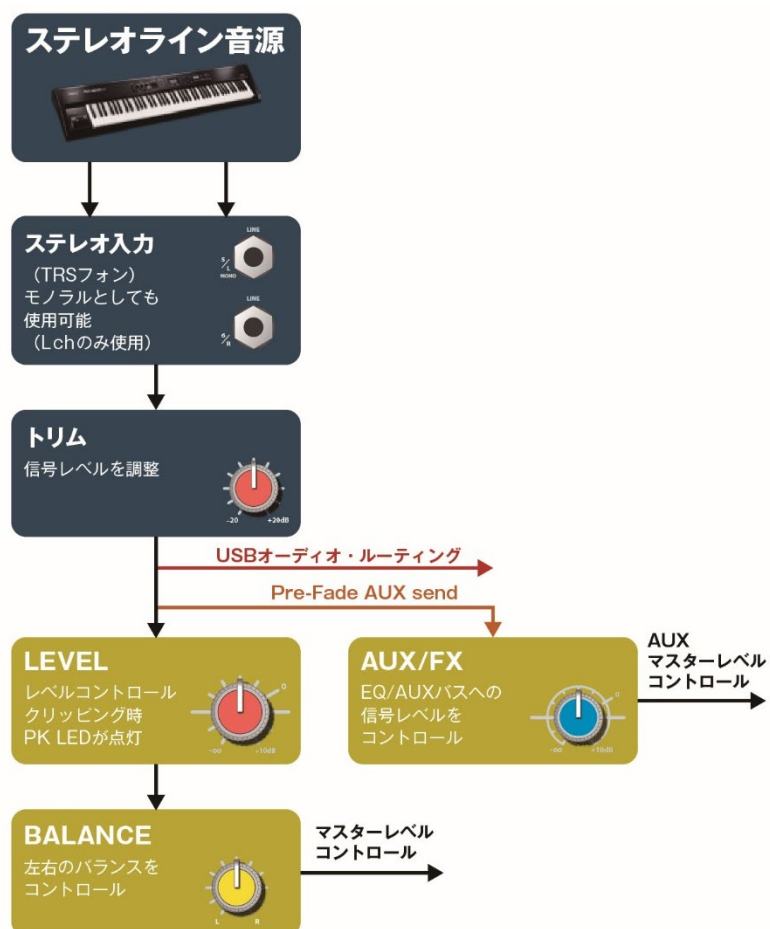


ステレオ入力



LINE L/R (TRS フォン端子)入力

トリム、レベル、バランス、AUX/FX のコントロールが可能です。AUX 出力は OUTPUT TYPE (MONO LINE OUT/STEREO PHONES) ボタンにより、ステレオ・ヘッドフォン出力に切り替えることができます。



USB オーディオ信号

Soundcraft USB Audio Control Panel を PC にダウンロードして実行します。

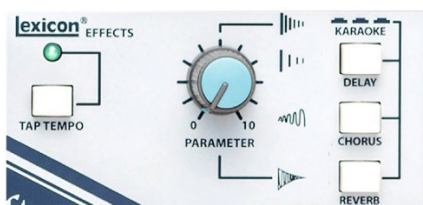
「Audio Routing」タブから USB バスを接続するポイントを選択します。

USB 入力ポイントは Notepad シリーズのモデルによって異なります。

	Notepad-5	Notepad-8FX	Notepad-12FX
USB入力1+2に接続 可能な入力ポイント	MIC 入力 1+LINE MONO2	MIC 入力 1+2	MIC 入力 1+2 固定
	LINE 2+3	LINE 3+4	
	LINE 4+5(RCA)	LINE 5+6	
	Mix L+R	LINE 7+8 (RCA)	
		Mix L+R	
USB 入力 3+4 接続 可能な入力ポイント	N/A	N/A	MIC 入力 3+4
			LINE 5+6
			LINE 7+8
			LINE 9+10 (RCA)
			Mix L+R
ミックスされる入力 チャンネル	LINE 4+5(RCA)	LINE 7+8 (RCA)	LINE 9+10 (RCA)

LEXICON FX

8FX と 12FX にはリバーブ、コーラス、ディレイなどのエフェクトを掛ける Lexicon FX プロセッサが搭載されています。各エフェクトはパラメーターツマミにより調節することができます。



※Notepad-5 には FX が搭載されていません。



AUX/FX ツマミにより FX プロセッサと AUX 出力に送る信号をコントロールすることができます。Notepad-8 の場合、Lexicon FX プロセッサで処理された信号は、AUX のツマミによりコントロールします。



Notepad-12 の場合、Lexicon FX プロセッサで処理された信号は直接 AUX マスターにリターンされず、11/12/FX RTN に戻ります。EXTERNAL FX

(Notepad 12FX) は外部 FX プロセッサからのリターン信号を入力します。この信号に対するトリムや EQ はありません。ケーブルを挿し込むとその信号は内部エフェクト信号に置き換わります。

Lexicon FX パラメーター

- DELAY

原音に遅らせた音を足します。フィードバックを上げると連続的に繰り返します。繰り返す回数はパラメーターツマミを使って 1～7 の間で調整できます。さらに TAP TEMPO ボタンを 2 回押すことによりディレイタイムを設定することができます。(最大 1 秒)

- CHORUS

音程を少し変えて元の音にミックスすることにより深みのある豊かな音色を作ります。複数の音が重なりボーカルトラックに厚みを与えます。

- REVERB

リバーブは音の反射がある空間で生じる複雑な反響効果を再現したものです。音は物体に当たると一部は吸収されますが、大半は反射、拡散します。この音の反響は部屋の大きさ、形、壁の材質などに依存します。Notepad シリーズに搭載されたリバーブは狭い部屋の反響を忠実に再現し、ボーカル、パーカッションなどに最適な効果を付加します。また、パラメーターコントロールにより、減衰時間を調整し、部屋のサイズをシミュレーションすることができます。

- **KARAOKE**

DELAY、**CHORUS**、**REVERB** を同時に押すとカラオケで良く使用されるエコー効果がかかります。



※この取扱説明書に記載されている商品名、会社名などは、その会社の商標登録です。
また、掲載されている図、写真などの著作権はその会社にあります。